

教育相談部だより 第9号



訪問教育の紹介

本校は、知的障害、肢体不自由の児童生徒が学ぶ特別支援学校です。富山県には、本校の他に、富山総合支援学校、となみ総合支援学校、ふるさと支援学校、高岡支援学校に訪問教育が設置されています。

今回は、本校の訪問教育について紹介します。



Q1. 訪問教育とは？

A1. 通学して教育を受けることが困難な児童生徒に対し、教員が家庭を訪問し教育を行います。

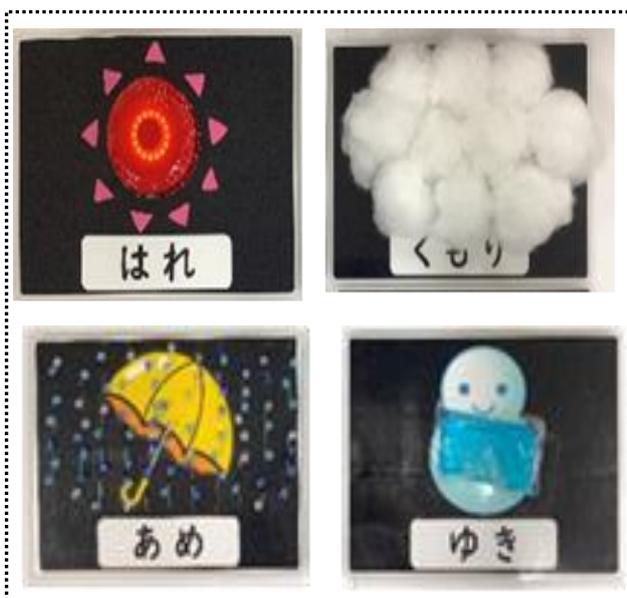
Q2. どのような勉強をしていますか？

A2. 児童生徒の健康状態や発達段階に応じ、家庭で「遊びの指導」と「自立活動」の個別授業を行っています。また、健康状態に応じて学校行事等に参加するスクーリングを行っています。オンラインで始業式や授業に参加することもあります。



〈朝の会の教材・教具〉

「お天気ボード」



朝の会で使用している教材・教具を紹介します。

- ・晴れは、太陽の丸い部分を押しとタッチライトがつきます。太陽光の代わりに、二重の赤セロファン紙を通して太陽光の暖かさを知らせています。
- ・曇りは、雲の状態をイメージできるように、柔らかい綿を貼り、触ることで知らせています。
- ・雨は、ビーズで雨粒を表現しており、軽く揺らすと雨音のような「ざっざっ」という音を聞くことで知らせています。
- ・雪は、雪だるまに付けた保冷剤に直接触れることで、雪のような冷たい感触を知らせています。

これらは、目で見て分かる工夫、触って分かる工夫、音を聞いて分かる工夫等、五感を使って、概念を学習することをねらっています。

〈遊びの指導〉

「自然からのおくりもの～落ち葉や木の実で作品をつくろう～」の学習の様子について紹介します。



10月の遊びの指導では、制作活動を通して、見る、触る、手を使うなどの学習経験を積み上げ、日常生活へと広がっています。今回は、身近にある落ち葉や木の実を教材としました。教師と一緒に、指先や手の平で、かさかさした落ち葉やころころしたどんぐりに触れると、穏やかな表情で手指を動かしたり、目を大きくしたりしながら、素材の面白さをじっくりと味わっている様子がみられました。身近な自然や季節の移り変わりを感じることでできる時間となりました。

〈校外学習〉

今年度は、「魚津水族館」へ校外学習に行きました。富山湾の魚やアザラシ、ペンギン等、海や川辺に住む生き物をたくさん見学しました。体調や移動方法、医療的ケアの実施方法等、保護者と相談をしながら、日程や活動内容等を決めました。魚津水族館では、水流が起きる仕掛け水槽やバックヤード等珍しいコーナーをはじめ、大きな水槽で泳ぐ様々な魚、水の音、海において、目を大きく開いてきらきらさせて、水族館の雰囲気を体いっぱい感じてきました。



〈おわりに〉

2020年3月に新学習指導要領「生きる力」が文部科学省より公示されました。

学校で学んだことが、明日、そして将来につながるように、子どもの学びが進化するとあります。

新学習指導要領では、生きる力を「知・徳・体のバランスのとれた力のこと」（「知」は、確かな学力、「徳」は、豊かな人間性、「体」は、健康・体力）と表現しています。

特別支援学校では、自立と社会参加を目指し、学校や家庭、地域、医療、福祉、保健、労働等と連携しながら、学校卒業後までの一貫した支援を行っています。児童生徒が、授業内容が分かり学習活動に参加している充実感・達成感をもちながら学習するために、一人ひとりに応じた学習課題の設定や教材・教具の工夫をはじめ、児童生徒の気持ちや願いを丁寧に聴き、児童生徒一人ひとりが大切にされ、もっている力を最大限に発揮できるよう丁寧に指導していくことを大切に支援しています。

〈教育相談のご案内〉

随時教育相談を受付けています。

相談方法：訪問・来校・電話で相談できます。

相談時間：9：00～17：00

※ 本校に在籍する保護者の方は、担任を通してお知らせ下さい。

※ 他校に在籍する保護者及び教職員の方は、管理職の先生から、教育相談部教頭にお電話下さい。

相談日については、日程や時間帯を調整させていただきます。

TEL：0765-54-1288 教育相談部担当教頭：中林（なかばやし）



詳細はホームページまたはQRコードをご覧ください。

